

第46回人口問題審議会総会

人口問題審議会の第46回総会が、昭和62年1月27日（火）午後2時から4時まで、中央合同庁舎第5号館共用第9会議室で開催された。今回の会議においては、まず次の3題の報告（カッコ内は報告者）とそれをめぐっての質疑討論が行われた。

1. 日本の将来人口新推計（昭和61年12月推計）について（阿藤誠専門委員）
2. 昭和60年国勢調査結果にもとづく地域人口の将来推計について（河邊宏専門委員）
3. 地域別世帯状況について（内野澄子専門委員）

今回の総会では、次に「人口と家族に関する特別委員会」の設置が決まったが、その趣旨、スケジュール等は次のとおりである。

「人口と家族に関する特別委員会」の設置について

（昭62. 1）

1. 趣 旨

高度経済成長に伴う若年人口の急激な都市集中化、扶養意識の変化等により、核家族世帯や高齢者世帯が増加するなど、我が国の家族形態は大きく変容した。また、家族形態の変容及び女性特に主婦の就業の増大は、育児や老人の介護等の家庭機能の面に大きな影響を及ぼしつつある。しかも、生活水準の向上は、個性に応じた多様なライフスタイルを追求できる状況を作り出している。さらに、高齢化や家庭基盤の脆弱化は、地域によって、その進展に差異があり、地域によっては大変深刻な問題となる可能性がある。

このような経済社会の現状を踏まえ、21世紀初頭の日本社会における家族形態を展望し、子供や老親の扶養、個々人や家族と地域社会との係わり等家族をめぐる問題に焦点をあて、長寿社会において家庭が健全に機能し、老若ともども明るく豊かに暮らしていけるための諸方策について論じ、提言を行う。

2. スケジュール

昭和62年春より審議を開始し、昭和63年春を目途に報告書を取りまとめ、大臣に提出する。（特別委員会は2か月に1回程度、計6回程度開催の予定。）

3. 特別委員会メンバー

委 員

福 武 直（社会 保障 研究所 顧問）	伊 藤 善 市（東京女子大学教授）
伊 部 英 男（年金制度研究開発基金理事長）	岡 崎 陽 一（日 本 大 学 教 授）
河 野 稔 果（人 口 問 題 研 究 所 長）	

専門委員

大 森 彌（東京大学教授）	小此木 啓 吾（慶応義塾大学助教授）
高 原 須美子（評 論 家）	藤 原 房 子（ジャーナリスト）
河 邊 宏（人口問題研究所人口政策研究部長）	内 野 澄 子（人口問題研究所人口構造研究部長）
阿 藤 誠（人口問題研究所人口動向研究部長）	山 口 喜 一（人口問題研究所人口情報部長）

なお、この特別委員会の第1回会議が3月16日（月）10時30分から12時30分すぎまで、厚生省特別第一会議室において開催されたが、出席委員の互選によって特別委員会委員長に福武直氏が選出されている。